



Photography

輝き・やすらぎ・賑わい



大宮小学校5年生による田植え

編集後記

七月八日、九日の二日間、大栃中学校の生徒達と交流を行う機会を得た。

私達の集落は、小学校と中学校の分校があったが、昭和三十六年に中学校が、同四十六年には小学校が統合された。

このため集落の人は、四十年近く多くの子ども達が、楽しそうに遊ぶ声を聞いていない事もあって、ほぼ全員が交流会に参加した。

八日に生徒達との対面式終了後、防災マップ作り班、歴史・文化調査班、災害の事も考慮して地域の食材を利用して料理班に分かれ、交流を行う事となった。

私は、歴史・文化調査班に同行し。それぞれについて説明したが、生徒達は多くの歴史・文化がある事に驚きと関心を持ってくれ、多

くの質問を受けた。

短期間の交流で、十分な説明は出来なかったが、中学生が自分の住む地域を知る事は大切な事だと思う。

防災マップ作り班には、地元の生徒もいたが「自分の住む地域にこんな危険な所があったのか。」との意見も聞かれた。

十四日に開催された本市内中学生弁論大会で、大栃中学校生徒の発表には、地域の人達との交流によって、新しい物の見方が出来るようになったと言っている。

二日間の交流であったが、私を含め地域に住む全員が大栃中学校の生徒達の健やかな成長を願ってやまない。

また、こうした機会を与えてくれた事に感謝したい。

(K)